

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 29 日作成)

小委員会名	比較居住文化小委員会	主 査 名：内海佐和子 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)	委員長名：菊地成朋 主 査 名：定行まり子
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>人・物・情報が世界規模で行きかう現在、それらの要因に影響を受け、居住の質も劇的に変化している。こういった状況下、フィールドワークによる居住文化の研究および、それをもとにした多様な展開を推進し、建築学の発展に寄与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に根ざした計画手法の集積および、その研究 2. フィールドワークによる居住文化研究に関する情報の発信 3. フィールドワーク事例の見学会の開催 4. フィールドワークを主体とした研究を行ってきた研究者による、研究の視座および方法論を紹介する書籍の刊行準備 5. 上記目的にそった拡大小委員会および公開研究会の開催 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	内海佐和子 (昭和女子大学) 上北恭史 (筑波大学) 濱 定史 (東京理科大学) 稲垣淳哉 (早稲田大学) 井上えり子 (京都女子大学) 岡田知子 (西日本工業大学) 栗原伸治 (日本大学) 清水郁郎 (芝浦工業大学) 田上健一 (九州大学) 那須 聖 (東京工業大学) 橋本憲一郎 (東京大学) 本間健太郎 (東京大学) 前田昌弘 (京都大学) 山田協太 (京都大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報発信 WG：当小委員会のウェブサイトの立ち上げのための企画・制作を主導する。サイト立ち上げ後は運営管理を担う。 2. フィールドワーク研究出版 WG：フィールドワークを主体に研究を行ってきた研究者による、研究の視座および方法論を紹介する書籍の刊行準備を行う。 	
2013 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s25/committee.html

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	公開研究会「自然災害と居住文化」(2013 年 11 月 9 日開催) <div style="text-align: right;">参加者数 16 名</div> 資料名：同上
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学会外から文化人類学の研究者も招いた公開研究会を開催し、同じ居住文化研究であっても視点を変えた研究事例の集積および、研究者相互の交流がなされた。 2. 情報発信 WG により、2013 年 6 月、委員会 HP を開設し、研究会の告知、活動報告等を公表できる場を得た。 3. 出版 WG 主導により、刊行までのタイムスケジュールの確認、基本方針の検討、目次および執筆者案の作成を行い、刊行準備をすすめることができた。
委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会 HP を開設したものの、未完成的なコンテンツもあり、情報発信が不十分である。今後、内容の充実を図っていきたい。 2. 公開研究会は開催できたものの、書籍刊行と連動した拡大小委員会は準備不十分により、年度内の実施が間に合わなかった。